

(別紙)

## 第三者評価結果

### I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉足尾認定こども園の保育計画の中で、設置者である日光市の保育理念及び保育方針・保育目標が明文化され、更に当園の保育目標が盛り込まれている。これらは職員及び保護者に配布のうえ説明をして、周知が図られている。		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉日光市地域福祉計画に基づき、事業経営における環境等について分析している。また、情報の収集は専門誌の購読や市（行政）からの情報を得て把握している。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉経営課題については、毎月の事務事業チェックシート（日光市統一）や予算執行状況を確認のうえ分析し、課題改善に取り組んでいる。		

#### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉公立のこども園であり、行政の第2次総合計画及び日光市子ども・子育て支援事業計画により、子育て支援全般にわたり施策のビジョン・目標更には現状と課題が明確化され、目標数値に至るまで詳細に記載された計画が策定されている。		
⑤	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
〈コメント〉単年度計画は、中・長期計画を反映した計画を策定しているが、数値目標等の設定には至っていない。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		

6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;事業計画の策定には市公立保育園全体の形式が統一され、職員参画のもと作成されている。実施事業の把握は出来ているが、詳細や見直しが不十分である。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;事業計画及び事業計画に基づいた年間行事計画は、年度当初の保護者会総会時に配布し説明のうえ周知を図っている。</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;保育サービスの質の向上に向けた取り組みとして「日光市自己評価チェックリスト」により自己評価を実施し、職員の課題の明確化を図りその改善に努めている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;職員が自己評価により取り組むべき課題は明らかになっているが、改善策や改善計画を作成するには至っていない。</p>		

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;管理者の役割と責任については事務分掌に記載され、職員会議や保護者会に於いて表明し、理解を図っている。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;遵守すべき法令等は、例規集の確認や行政からの通知や通達を職員会議で周知し、理解を図っている。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;管理者は職員会議等あらゆる場面において職員から意見を聞き、保育サービスの質の向上や業務改善・効率化に取り組み、指導力を発揮している。</p>		

13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;経営状況の分析や改善については事務事業チェックシートや予算執行状況により把握し、課題を明確化したうえ必要に応じて行政への予算要求等を行っている。職員に対しては予算範囲内の執行や業務の効率化について周知し、理解を図っている。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;日光市人材育成基本方針が策定され、その方針に沿って計画の実行に向け市行政と連携を図り、職員の適正配置や人材確保・定着に取り組んでいる。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;市人事評価マニュアルに沿って、園長及び全職員の能力評価シートにより担当課長が職員個々と面談を行い、職員の意欲・能力向上に努め、適切な人事管理が行われている。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;担当課長の個別面談時の職員の意向把握や、職場内における職員の意向や意見については、職員が園長や主任に対して何でも気軽に話せる雰囲気があり、いつでも相談や意向が言える環境を整え、職員の働きやすい職場づくりを目指している。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉔・b・c
<p>&lt;コメント&gt;日光市人材育成基本方針により職員個々の業務評価シートがあり、その中に目標項目・目標水準・具体的方針・業務ウエイト・難易度が示され、それらを基に職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを行っている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;日光市人材育成方針の中で各研修に関する方針や計画が策定され、当園においても研修計画を策定し職員研修の機会を設け、質の向上に向けた取り組みが行われている。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;市行政主催の研修への参加はもとより、その他外部研修についても参加しやすい環境を作り、積極的に研修の機会を確保している。参加出来ない職員には、内部研修として研修報告を行い職員全体で共有を図っている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		

20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;実習生の受け入れについてはマニュアルが整備され、主任が受け入れ担当となり指導プログラムや実習について学校側と連携を図り、実習生の育成について効果が上げられるよう積極的に取り組んでいる。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;市のホームページや広報にっこうにより情報公開されている。また、地域の広報紙等を活用して園の活動内容や目標について周知している。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;公立のこども園であることから定期的に県及び市の監査を受けており、指導された事柄について改善に努め、公正で透明性の高い運営を行っている。</p>		

### Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;地域との交流は積極的に取り組んでいる。特に本地域は高齢化率が高く、そのため地域のお年寄りとの交流が活発に行われている。また、地域交流事業として地域の行事に参加し交流を図っている。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;ボランティアの受け入れは、主任が担当となりマニュアルに沿って対応し、体制は確立している。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;こども園としての必要な社会資源については、一覧表にまとめられ連携が取れる体制になっている。特に小学校との間では連絡会が組織され、定期的に情報交換が行われている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・㉔・c
<p>&lt;コメント&gt;市行政からの情報把握や、月1回実施される親子広場・送迎時の保護者との会話によ</p>		

り地域のニーズの把握に努めている。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㊦・c
〈コメント〉地域の子育てニーズにより、保護者の子どもの送迎時等において子育てに関する様々な問題等について、子育て相談事業を実施している。		

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・㊦・c
〈コメント〉子どもを尊重した保育サービスの基本姿勢や保育理念・保育方針が明示され、園内研修で子どもの人権について話し合いを行い、職員の共通認識を図り保育サービスを提供している。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・㊦・c
〈コメント〉子どものプライバシー保護については、日光市個人情報保護条例に基づきプライバシー保護に取り組んでいるほか、「児童のプライバシーについて」や「プライバシーポリシー」を保護者や職員に配布のうえ説明している。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・㊦・c
〈コメント〉日光市のホームページに記載されているほか、こども園の保育理念・方針・目標の基本姿勢や行事及び園の1日等を分かりやすく紹介した「施設情報ガイド」・「入園のしおり」が公共施設等に配置され、誰でも入手できるようになっている。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・㊦・c
〈コメント〉入園希望者には「入園のしおり」や組織で定めた申請書により丁寧に説明のうえ、保護者の同意を確認して入園の運びとなっている。		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・㊦・c
〈コメント〉日光市公立保育園（こども園を含む）内では児童票の引継ぎ等により保育の継続性に配慮されているが、民間や市外の保育園には必要に応じて対応している。保育の継続は相談窓口等で対応しているが、退園についての文書等は定めておらず、不十分である。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㊦・c
〈コメント〉子どもの満足度の上昇の把握として、保護者参観時等のほか保護者個別面談会に於い		

て保護者の意向等を把握して、子どもの支援に役立っている。また、行事の際にはアンケートを実施している。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㉔・c
〈コメント〉苦情解決の仕組みは整備されており、苦情責任者、受付担当者が配置され、保護者には苦情相談窓口の設置の書面を配布するなど周知を図っている。		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・㉔・c
〈コメント〉保護者会総会時に自由に意見が述べられる環境であることを周知し、送迎時の相談や保護者個別懇談会を通して、保護者の意見や意向を把握している。		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・㉔・c
〈コメント〉保護者からの相談や意見に対して日頃より迅速に対応しているが、マニュアル等の見直しは十分でない。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・㉔・c
〈コメント〉こども園内のリスクについては日頃よりチェックし、園内ヒヤリハット集を作成している。事故等が起きた場合、事故報告書に記入のうえ事故要因を分析し再発防止に努めている。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・㉔・c
〈コメント〉感染症予防マニュアルが整備され、発生時の子どもの安全確保の体制整備もされており、保護者への情報提供も適切に行われている。		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉔・b・c
〈コメント〉災害時の対応について「日光市足尾認定こども園非常災害対策計画」が策定され、避難訓練の実施はもとより事前の対策等を詳細に記載して日常の危機管理を確立しており、子どもの安全確保の取り組みが園全体で組織的に取り組まれている。		

## Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・㉔・c
〈コメント〉保育について標準的な実施方法が文書化されており、個別計画により子ども一人ひとりの発達等を踏まえた保育が実施されている。		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㉔・c

<p>&lt;コメント&gt;職員会議等で意見交換をして、職員の共通理解のもと見直しを行い、保育の実施がされている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;アセスメントに関する手順を組織として定め、その手順に従って指導計画書を策定し、子ども一人ひとりの特性に応じた課題・目標を記載するなど適切に策定している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;子ども一人ひとりに着目した指導計画は、年度末に組織体制の合意のもと策定され、定期的に評価見直しを行い保護者の同意を得ている。</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;子ども一人ひとりの個別計画書が作成され、その記録のもと職員間で共有化を図っている。個別計画書は保護者に説明・確認をし、適切に行われている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;子ども一人ひとりの記録の管理は、文章管理規程があり管理されている。記録の個人情報の取り扱いは、市個人情報保護規程に基づき対応する旨を保護者に説明し、同意を得ている。</p>		

## A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;日光市立保育園の保育理念や保育目標は統一されており、それに基づき保育課程が編成されている。毎年度末に職員たちが一年を振り返り保育課程を作成して、新年度に着任した職員にも周知を図っている。子どもの発達過程や地域の状況などを踏まえているが、家庭の状況、保育時間などで配慮が必要な要件があった場合は、それらも考慮した編成となるよう期待する。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;施設、遊具などは毎日のチェック表や安全点検簿で危険箇所、室内温度、湿度などを管理し、子どもが心地よく過ごせるよう環境整備している。また、玩具の衛生管理への心配りなど環境整備がされているが、施設の整備や配置変更等による家具や遊具の工夫が期待される。</p>		

A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・ <b>③</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;一人ひとりの発達状況や個人差を踏まえた個人計画を作成し、職員間で共通理解をしながら子どもの思いを受け止めた支援をしている。保育の過程で保護者から家庭の様子も確認しながら育ち優先で支援をしている。今後とも、保護者との連携を密にして子どもへの理解を深めながら保育することを期待する。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	<b>④</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子ども一人ひとりの発達状況に合わせ、自分でやろうとする気持ちを育み、健康で安全な生活に必要な基本的な生活習慣を身に付けられるよう理解しやすいやり方を示し、出来た時の達成感が味わえるよう援助が行われている。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	<b>⑤</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;保育士が子どもと関わりを持ちながら発達段階に応じた玩具の利用や、身近な自然との関わりなどで楽しく遊びができるよう環境を整えている。幼児組の定例的な異年齢保育のほか、近接する小中学校の生徒との交流、地域高齢者との合同行事、ボランティアの読み聞かせなど地域の人々に見守られながら豊かな生活が送れるよう支援している。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ <b>⑥</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;入園時には子どもの家庭での様子やアレルギーについて細かく聞き取り、育ちに合わせた個別計画により、家庭的な雰囲気の中で、施設を広く使いながら十分なスキンシップやゆとりを持った保育を心がけている。園での様子は連絡帳や口頭で伝えるとともに、子どもの思いを受け止めながら発達過程に応じた保育実践をしている。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ <b>⑦</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;発達段階に応じた個別計画等に基づき、一人ひとりの状態や気持ちに寄り添った保育をしている。生活習慣を身に付けながら自由に探索活動ができる心地よい安全な環境整備にも心がけている。送迎時には園での様子を連絡帳や口頭で保護者に伝え、家庭と連携して子どもの育ちを援助している。活動が活発な時期となるためヒヤリハットの会議も開催し、改善に取り組んでいる。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ <b>⑧</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;年齢段階における計画に基づき、日々の活動や体験の中で達成感、自己表現、思いを伝え合う楽しさなどを一人ひとりの育ちを支えながら年齢に応じた保育が行われている。屋外ではサッカー、虫取りなどの遊び、テープの芯を活用した作品制作など創意工夫した作品作り、地域ごとに行われている縄跳びなどを通して、地域全体で子どもを育成している。</p>		



A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ <b>⑨</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;家庭や医師・保健師などと連携し、発達状況に応じた個別計画を作成し、注意点を把握しながら取り組みを進めている。職員は、必要な知識や情報を得るための研修会にも参加している。今後とも保護者の思いに配慮した情報を伝えていく必要がある。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ <b>⑩</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;夕方は異年齢児がゆったりした部屋で玩具や折り紙などで遊びながら一緒に過ごしている。帰宅時には、園での様子を連絡帳で家庭へ伝えている。担任から当番職員への連絡は、保護者に必要な事項は伝えているが、細かい部分までは難しい状況にある。今後とも、保護者との連携が十分取れるよう工夫されることを期待する。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・ <b>⑪</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;幼保小連絡協議会を通して子どもの交流や保育要録(子どもの姿)の提供等で学校と連携している。また、指導計画に基づき生活のリズムの形成やかるたを使った文字への関心、時計の見方、小学校探検、小学一年生との共同活動など円滑な就学移行に向けた保育を行っている。保護者へは環境変化による子どもの心情や学校へ行く準備などを伝え、子どもの相談にも応じている。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・ <b>⑫</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;入園前の健康診断結果から既往症や健康状況を確認し、職員間で共有している。保護者へは園での健康状況を伝え、家庭での状況を聞き取り、連絡ノートや児童表等に記入し体調変化に配慮している。乳幼児突然死症候群については一歳半まで市統一のチェック表で対応している。疾病は、お便りで保護者へ周知を図っているが、十分な理解・周知が必要なものについて更なる情報提供の工夫を期待する。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・ <b>⑬</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;健康診断・歯科診断の結果は、保護者に伝達するとともに、職員間で共有し医療機関への受診促進を図っている。園では、子どもが歯の大切さを知るゲームを行い、家庭生活での歯磨き促進を図っている。今後とも子どもの健康管理の促進に向けた取り組みを期待する。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・ <b>⑭</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;保護者からアレルギー疾患や慢性疾患の状況を聞き取り、かかりつけ医師の指示も受け対応している。アレルギー疾患は市統一の対応ガイドラインにより園内の調理師への伝達、他職員間の周知を迅速に行っており、外部の研修への職員参加も図っている。今後とも、他の子どもたちや保護者に理解しやすい取り組みが期待される。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・ <b>⑮</b> ・c

<p>&lt;コメント&gt;毎月の食育会議で一人ひとりが食事を楽しむよう、献立や調理を工夫している。お花見弁当やリクエストによるバイキングなど季節感や要望を取り入れた食事の他、異年齢児との食事や屋外での食事、自主的な盛り付けをさせるなど雰囲気を変えたり達成感を味わったりする等の工夫も取り入れている。また、保護者へ献立や食材の説明をするなどの工夫も取り入れている。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・ <b>⑯</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;食育会議や残食の調査記録の結果を基に、嫌いな物でも食べられるよう季節感や行事を取り入れた献立など工夫をして、子どもが美味しく食べられるよう努めている。調理員と保育士の情報交換により調理の工夫をしているが、送迎時の保護者との情報交換など体調も踏まえた調理の工夫を期待する。</p>		

## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	<b>⑰</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;送迎時の連絡や相談などで日々の連絡を行うほか、月1回の「園だより」、個別計画を作成し、保護者に確認を得ている。また、個人懇談を年2回実施し、家庭の様子や園での生活など子どもの成長を家庭と共有している。園で夏祭りやミニコンサートを開催し、保護者と触れ合う機会も深めている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・ <b>⑱</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;保護者が安心して子育てできるように子育て相談に関する情報を入園当時から支援している。送迎時や個人懇談などを含めて、子どもの成長や子育て家庭に寄せられる相談は多様であるが、職員の相談機能を高めながら、保護者への適切な助言などに努め、引き続き地域の子育て相談所としての役割が求められる。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・ <b>⑲</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;日々の保育活動の中で、一人ひとりの言動や身体的な変化に注意を払い、チェックリストにより早期発見、早期対応に努めている。気になる子どもについては保護者の送迎時に家庭の様子なども確認して、職員間で情報を共有して組織的な取り組みをしている。今後は、専門機関との連携を進め、迅速且つ適切な対応が必要な場合の組織的な取り組みと職員間での周知徹底が求められる。</p>		

## A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		

A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価） を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・㉑・c
<p>&lt;コメント&gt;職員は毎年チェックリストで業務全般にわたる自己評価を行っている。職員間で業務に対する意識の差が出てしまうため、職員会議において評価結果の問題点について話し合いが行われており、保育の質の向上に繋がっていくと思われる。今後も、自己評価を通じた話し合いによる保育所全体の質の向上を期待する。</p>		